湖都大津十社寺・湖信会設立60周年記念・日本遺産登録記念企画展

神仏のかたち

—湖都大津の仏像と神像—

毘沙門天曼荼羅図
南北朝時代　不動寺（田上森町）蔵
信貴山の剣鎧護法童子と空鉢護法を描く珍しい作例。初出陳

普賢延命菩薩像
重要美術品　南北朝時代　比叡山延暦寺蔵
あまり例のない普賢延命菩薩の古例。
白象の表現が個性的。

１９５８年（昭和33年）、多くの方々に大津市の観光を楽しんでいただくために、大津市内の有名観光社寺10社寺が連携して「湖信会」が設立されました。本年はそれから60年の節目の年になります。さらに、２０１５年には、「琵琶湖とその水辺景観―祈りと暮らしの水遺産」のテーマで、延暦寺、園城寺、日吉大社、西教寺、建部大社、浮御堂、石山寺が「日本遺産」として登録されました。そこで大津市歴史博物館ではこれらを記念して、湖信会加盟10社寺の名宝を中心に、湖都大津の神社仏閣に伝わる仏像や神像などの宝物を紹介します。

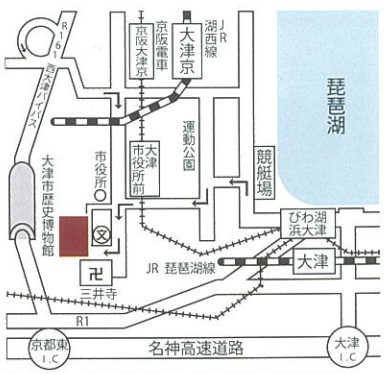
普段は拝観することの難しい秘仏や、初公開の作例もお披露目する予定です。また、お馴染みのお像についても、多くのみなさんに興味を持っていただけるよう、特にお姿の特徴について、詳しくわかりやすい解説をそえて展示します。

普賢菩薩坐像
南北朝時代　園城寺蔵
小像ながら、均整のとれた作風と精緻な截金と盛上彩色がみどころ。初出陳

薬師如来坐像
重要文化財 平安時代　法楽寺（大石東）蔵
12年に１度、寅年の数日のみ御開帳される秘仏。初出陳

企画展関連講座　時間はいずれも14時～15時30分 ※有料。事前申込が必要。詳しくは大津市歴史博物館まで。

10月20日(土)	「神像入門―日本の神々とその造形―」	山下 立氏	（滋賀県立安土城考古博物館学芸員）
10月27日(土)	「釈迦と弥勒の美術―ガンダーラから日本へ―」	外山 潔氏	（泉屋博古館上席研究員）
11月 3日(土)	「仏像・仏画のサインとデザイン」	米屋 優氏	（あべのハルカス美術館副館長）
11月10日(土)	「大仏師湛慶の仏像とその周辺」	植村 拓哉氏	（元興寺文化財研究所研究員）
11月17日(土)	「仏師の実像―すがた・いのり・くらし―」	杉﨑 貴英氏	（帝塚山大学准教授）



京阪電鉄石山坂本線「大津市役所前」駅下車 徒歩5分
JR湖西線「大津京」駅下車 徒歩15分
無料駐車場（乗用車約70台）

大津市歴史博物館　〒520-0037 大津市御陵町2-2　TEL 077-521-2100
http:/www.rekihaku.otsu.shiga.jp/